

去年応募した第48回全国
国児童・生徒木工作コンクール（日本木材青社
年団体連合会主催）中学
校の部で最高賞に輝き、
今年6月に表彰を受け
た。ものづくりに関心があり、現在は横手清陵学
院高校で技能資格の取得
やロボット作りの部活動
に励んでいる。

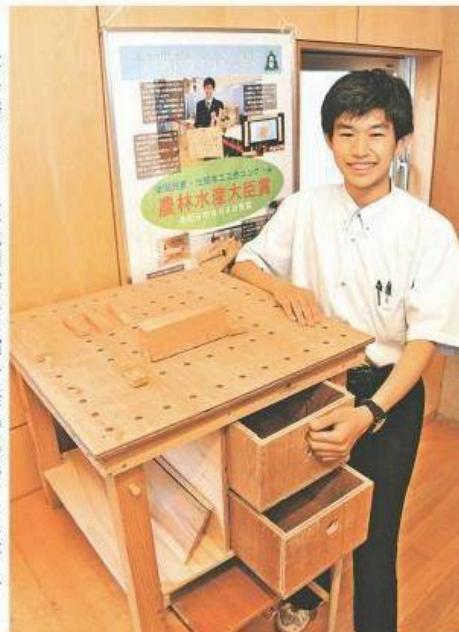
受賞作「万能ワークベ
ンチ」は、日常的に工作
を行う自身の経験を踏ま
え、木材を安全に効率よく
加工できる工夫を凝ら
した作業台。約60センチ四方
の天板には複数の穴が開
いており、留め具の位置



木工工作的全国コンクールで部門最高賞

こまつ そうご 小松 湊悟さん(15)

横手市寿町



木工作コンクールで部門最高賞に輝いた作品を紹介する小松さん

を変えることで、材料の
大きさや形状に応じて柔
軟に作業ができる。工具
を収納できる引き出しも
取り付けた。

同学院中学3年だった
昨夏に2カ月ほどかけ
ような作業台を目指し
機関車が活躍する内容に

部門最高賞に選ばれた。
「自分で使いなくなる
仕事に就き、蒸気機関車
の整備や運転に携わること。
ものづくりを通じて
対象物の仕組みを理解し
たり、機能を向上させよ
うと努力したりすること
が夢の実現につながると
考へている。

「完成したときの達成
感や工夫する面白さがた
まらず、気付けばいつも
何かを作っている。大好
きな工作を究めて将来の
仕事に生かしたい」と話
した。（佐藤悠太）

△随時掲載

ものづくり究めたい

夢中になり、次第に模型
を作り始めた。現在も、
木の端材や工作用紙で精
巧なミニチュア機関車を
作るのが趣味になつてい
て制作。全国から3部門
に計1万5437点の
応募があったコンクール
で、全体の最高賞に次ぐ
高評価してもら
いた。「高い評価してもら
った。高く評価してもら
った」と笑顔を見
せる。幼い頃に見たアニメが
工作へのめり込むきっかけ
になつたという。蒸気
機関車が活躍する内容に

きた。
将来の夢は鉄道関係の
仕事に就き、蒸気機関車
の整備や運転に携わること。
ものづくりを通じて
対象物の仕組みを理解し
たり、機能を向上させよ
うと努力したりすること
が夢の実現につながると
考へている。